



〒520-0041 滋賀県大津市浜町1-38 滋賀銀行従業員組合 TEL 077-521-2775 FAX 077-525-5232 Mail info@sbu-ffs.com URL http://sbu-ffs.com/

平和な社会を子どもたちに

第62回 滋賀県母親大会(5/29)

5月29日、守山市で第62回滋賀県母親大会が同実行委員会の主催で開催され、県内各地から950人が参加され、従組の先輩組合員と家族12人が参加しました。母親大会は、1954年3月1日アメリカによるビキニ環礁での水爆実験に抗議して、「核戦争から子どもを守るう」と呼びかけ始まりました。『生命を生み出す母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます』のスローガンを大切にして、62年間続けられてきました。

幅広いテーマの分科会に「とても良かった」の声

大会は、午前10時から20

の分科会が行われました。分科会は、「親子遊び、子育て、食べ物と健康、若者の雇用、原発避難者の現状、消費税、アニメ『対馬丸』、えん罪、高齢期の問題などをテーマにした討論」、「TPP、マスメディア、平和、女性の人権などをテーマにした講座」、「DVD『泥の花』、うたごえ、エ



アロビックスなどの体操、中山道散策」など多岐にわたりました。参加したみなさんから

「よく分かった」「とても良かった」との多くの感想が聞かれました。

恒例の「滋賀の運動 白波五人衆」に拍手喝采

午後の全体会は、もりやまっ子文化教室の児童による「和太鼓と踊り」で始まり、自分のできる行動し、歴史の中で挑戦される姿は、参加者に勇気を与えるもの

も相手にされなかった。僕らは、特段能力はない。一人になるとネガティブな気が

学で英米文学を学び卒業と同時に日本語研究のため来日され、日本語での詩作を始められ、詩集・エッセイ集・絵本・翻訳絵本など多数出版されています。文化放送と青森放送でラジオパーソナリティもつとめるなど幅広く活躍されています。

記念講演 「子ども達の未来のためにいま、大切なこと」

講演は、ペリー上陸からの日米の歴史で始められました。つぎに、毎年の広島平和式典での発言の推移に触れ、「雨なのに『今日のうように焼く日差し』と

り、恒例の「滋賀の運動・白波五人衆」は、滋賀各地の運動を口上で紹介され、拍手喝采でした。記念講演は「子ども達の未来のためにいま、大切なこと」と題してアサー・ビナードさんが話されました。同氏は、1967年米国ミシガン州生まれで、ニューヨーク州コルブート大



述べる首相だとか、「尊い、貴い、かけがえのない、大切な」命と、きれいな言葉を並べるが、戦前の子どもや国民の命はまったく大切にされず命の価値はゼロ、一億総玉碎社会だった時代をごまかすもの」だと痛烈に批判されました。

戦前の反省を含めて命を大切に『日本国憲法』

「そうした反省を含めて命を大切に『日本国憲法』が創られたのだ」と述べられました。

「オバマ大統領の原爆資料館見学はわずか7、8分、『核なき世界を、改めて訴える』と言うが今後110兆円でアメリカの核兵器をすべて新しくするという。これは、安倍首相の『恒久平和』発言と同じである。『訴える』とは権力のないものや市民団体が言う言葉であり、決定権がある権力者は具体的に核をなくすべく実行すればいい。」

子ども達の命を大事にする憲法がいつまでも続く選択しよう

「7月の参院選では、子ども達の命を大事にする憲法が千代に八千代に若むすまで続くように選択しよう」と綺麗な日本語でユーモアを交えながらの講演に会場から感動と共感の大きな拍手が起きていました。「世界中から核も原発も戦争もない社会になるよう、生命を守る運動をさらに広めよう」との大会アピールを採択し、大会旗は来年開催地の大津市へ引き継がれました。(写真は新婦人大津支部ブログより)



5月21日午後、大津市において安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める県民集会在開催され従組組合員や先輩組合員が参加しました。この集会は5月14日に尾木ママ(尾木直樹さん)を招いて「子育てと憲法問題」の開催に続く「市民フォーラムVOL2」として開催されました。

今回のフォーラムは、同会の玉崎洋子さんの開会のあいさつで始められ、シールズ(SEALDs)の奥田愛基(おくだあき)さんが「TAKEN BACK DEMOCRACY」をテーマに講演されました。奥田さん

SEALDsの奥田愛基さん 全国につながる 一歩踏み出す人 市民の会しが 市民フォーラムVol.2

奥田さんは、「僕のお爺ちゃん滋賀で。びわ湖で泳いだ。最初は僕たちのデモ



持ちになる。けれど、一歩踏み出そうとする人が全国にいる。名前も知らないけれどつながっている」との

最後に、統一候補の林久美子さんが決意表明を行い、奥田さん、林さんと5人の報告者が手を重ねて大きな拍手に包まれました。(写真は澤井さん提供)

参議院選「今の政治をストップせよ」 滋賀県労連第60回評議員会

6月4日、守山市において滋賀県労連第60回評議員会が開催され、八軒執行委員（評議員）と小原特別執行委員（幹事）が出席しました。評議員会では前回評議員会からのまとめと9月に開始の次期定期大会までの方針を決定しました。

参議院選挙方針 組織拡大・強化など決定

▽第2号議案「経過と情勢の特徴、大会までの方針」についての提案を受け、6人から発言がされ、参議院選挙に向け、自公とその補

瀧上正昭議長は開会挨拶で、アベノミクスの失政を批判し「選挙で安倍政権を少数派にしよう。また、要求実現のためには組織拡大が大切だ」と挨拶されました。

組織統一の「JMIU」 「全滋賀教職員組合」

議事は第1号議案で加盟組織の変更「JMIUと通信産業労働組合が組織統一し日本金属製造情報通信労働組合（JMITU）に、全教滋賀教職員組合と滋賀高教組が組織統一し全滋賀教職員組合に変更」が報告確認されました。▽

1972年5月15日に、核も基地もない平和な沖縄実現めざして沖縄がアメリカから返還されて44年、沖縄の実態を改めて知ろうと、滋賀憲法共同センターと革新の会しりが共同で「沖縄連帯・滋賀県民のつどい」が大津市内で開催され従組員が先導組合員が参加しました。

沖縄返還44年・連帯のつどい 「軍事力強化で国は守れない」

※進められている。根源は安保条約と新ガイドラインである。安倍首相は北朝鮮、中国から守るためと言うが、日米安保、軍事一辺倒で外交をしない。『軍事力（武力）強化で国は守れない、戦争法はいらないの世論、基地のない沖縄・日本をめぐす運動』を広げよう。野党共闘の前進で沖縄県議選、参院選で安倍ノを突き付

集会では小泉親司さん（日本共産党・基地対策委員会責任者）が、「これがねらい！日米新ガイドラインと戦争法・辺野古新基地」と題して講演されました。

小泉さんは、「44年たつて沖縄の基地はさらに強化され、基地をなくせとオール沖縄の闘いが広がっている。安保法制は戦争法以外の何物でもなく、軍事費は5兆円を突破し、沖縄だけでなく全国で米軍と一体化した自衛隊の基地大増強など戦争する国づくりが※



の説明が必要と主張しているが、事業者として安全性に欠ける点のないことの立証がされなければ、逆に安全性に欠ける点があることが推認されるといえ、関電の主張は安全性に欠ける点

大津地裁「関電の仮処分執行停止申し立」を却下

3月14日、大津地方裁判所において関西電力高浜原発3・4号機の運転差し止めを命じた仮処分決定が出されました。これに対し関西電力が行った仮処分の執行停止の申し立に対し、6月17日、大津地裁は、これを却下する決定を下しました。

裁判所の判断の概要は次のとおりです。

- ① 原決定の取消し原因となることが明らかな事情の説明がない。
- ② 関電は過酷事故の機序

がないことが立証されていない。

- ③ 新規規制基準の制定経過に照らし、少なくとも本件各原発の設計や運転のため規制が具体的にどのよう

完勢力を少数派にするためのたかひを引き続き進め、野党共闘の力をさらに押し上げることを確認しました。閉会の挨拶で宮武真知子副議長は「人の命が軽んじられている。安倍政権を倒そう」と結びました。なお同日、同会場でNPO滋賀労働相談センターの総会も開催されました。（写真は議長の開会挨拶 小原さん提供）

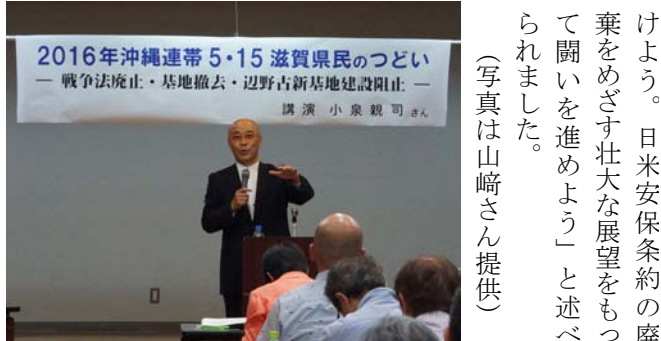
JRに安全・安心・快適な 県民の足としての責任を果たさせよう JRの安全を求める滋賀の会

6月10日、草津市において「JRの安全を求める滋賀の会（滋賀の会）」2016年度総会が開催され、組合を代表して澤井書記長が参加しました。

結成14年目を迎えた、滋賀の会は、結成以来、J◇に強化され、それにどう応えたのか説明していない。

労働災害を分析 働くものの命と健康を守る滋賀県センター

6月1日、大津市において働くものの命と健康を守る滋賀県センターの主催による「安全衛生学習会」が開催され小原特別執行委員が参加しました。



学習会講師の宮木氏（全労働滋賀支部）は全国の労働者死傷病報告、労災給付データ、労働災害動向調査、滋賀県の労働災害発生状況や滋賀県の労働衛生の現状などを示し詳しく分析報告をされました。

滋賀県の業務上疾病の発生状況は、過去15年間の件数推移でH26年が最高値の145件となっています。

安全衛生委員会は、働く人たちの安全衛生が一層確保され、安心安全で働きやすい職場環境を維持発展させなければなりません。（写真は小原さん提供）

湖西線の経営分離に 反対運動の広がり

北陸新幹線の敦賀以西の延伸問題については、県内でも市民・利用者の関心が高まっており、高島市議会、大津市議会がともに湖西線の経営分離に反対の決議を可決しました。また、湖西線沿線の市民らが立ち上がり「湖西線を守る会」を立ち上げるなど、運動の広がりが急速に進んでいます。

「滋賀の会」では、利用者から、安全・安心・快適であるべき公共交通機関としてのJRに対する意見・要望を聞く「利用者アンケート」が取り組まれました。

要望は、エレベーターやエスカレーターを設置、トイレの増設・改築など、設備に関する要望が全体の25%と一番多く、2番目は不便さ・不親切に関するものに、3番目は北陸新幹線に関する内容で、「延伸反対」現状のままが良いという意見・要望が多く、利用者の関心の高さが示されたと報告されています。

